

年頭のごあいさつ

東京都市大学 柏門技術士会
会長 小林洋一



明けまして、おめでとうございます。

平成26年の年頭にあたり、所信を申し上げ、会員の皆様と共に新しい年の柏門技術士会の活動の方向を考えてみたいと思っています。

2009年に東京都市大学へと校名が改称され、昨年3月には都市大として初めての卒業生が巣立っていきました。また、昨年秋には北澤宏一新学長が着任されました。そして、懸案の同窓会組織も新たな校友会として発足しました。

私は、校友会の発足説明会ならびにホームカミングデーにおける北澤新学長のご講演を拝聴し、我が愛する武蔵工大が生まれ変わり大きく発展する予感を感じて安堵しました。このような変革期だからこそ、柏門技術士会として母校の発展と在校生ならびに卒業生の方々へ微力ながら一助となるよう本会の活動を進めて参りたいと思っています。

一、柏門技術士会会員相互のコミュニケーションの促進を図ります。

柏門技術士会では毎月の第二土曜の午前中に運営委員会を開催しています。本会は発足してすでに10年経て、この運営委員会は第106回を数えました。今後はホームページを通して、会員の皆様と運営委員会での論議の内容を共有して、より会務の活性化を図って参りたいと思っています。

一、母校へご協力のあり方の模索をしてまいります。

先週、校友会お声かけにより、北澤学長、校友会、柏三水会、そして、柏門技術士会からは私が参加して、懇談会が開催されました。北澤学長から直接、都市大に寄せる想いをお聴きする機会を得ることが出来ました。たいへん有意義な懇談会でした。柏門技術士会としても微力ながら、母校にとって技術士の集団らしいご協力のあり方を模索して参りたいと思っています。

これらも母校を愛するすべての皆さんと共に、より良い柏門技術士会を目指してまいります。一層のご協力・ご支援を賜りますようお願い致します。 了